

平成29年  
ひのととりとし  
丁酉年

# 新年祭事のお知らせ

## はつもうで 初詣



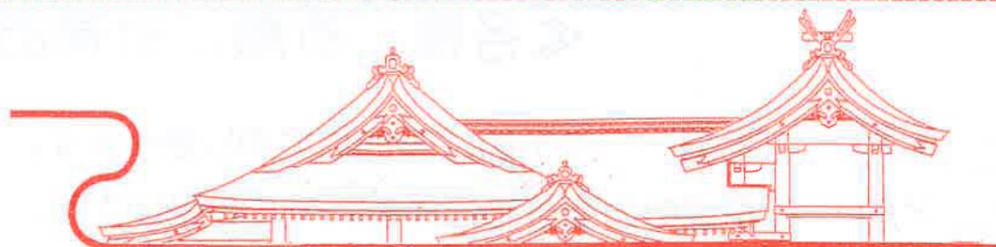
はつもうで いにしえ あらたま  
初詣は古代より新玉に感謝報恩を捧げる自然信仰で生活に根付いた日本民族的  
習慣であります。祖先神や産土神（氏神）に新年のご挨拶をし、昨年1年間の感謝  
をせしんしん うぶすなかみ  
をし、今年も1年間さらに素晴らしいご加護を受けられるように今年の抱負と決  
意を念じ心を込めてお祈りいたしましょう。ご家族おそろいでご参拝くださいませ。

## さいたんさひ 歳旦祭

平成29年1月1日・午前10時から・ご本殿にて齋行致します。  
平成29年の新しく迎えた年を祝い、氏神様に感謝をし、ご神前に  
皇室の弥栄・国家の安寧・氏子崇敬者とご家族の益々のご多幸を  
ことほ  
言祝ぐ神事であります。  
本殿での昇殿参拝にはご祈祷記念品（授与品）をご用意しております。



## やくはらひきとうひ 厄祓祈禱の日



平成29年の厄年年齢

今回は、男性が25歳、42歳、61歳、女性が19歳、33歳、37歳、61歳の年回りを言います。中でも男性の42歳、女性の33歳は大厄と言われております。

### お正月厄祓日

1月1日(日) ・元旦は午後1時30分から  
2日(月) ・3日(火) は午前10時～午後3時まで



◇上記の日以降は御予約日により齋行いたしますので、事前にご連絡戴きますれば、日時調整をいたします。

◇「厄祓祈禱」の齋行時間は午前10時～午後3時まで

◇厄祓祈禱料 御1人 3,000円（当日社務所にてお受けいたします）

	前厄		本厄		後厄	
	男	24歳	平成6年生れ	25歳	平成5年生れ	26歳
性	41歳	昭和52年生れ	42歳	昭和51年生れ	43歳	昭和50年生れ
	60歳	昭和33年生れ	61歳	昭和32年生れ	62歳	昭和31年生れ
	前厄		本厄		後厄	
	女	18歳	平成12年生れ	19歳	平成11年生れ	20歳
性	32歳	昭和61年生れ	33歳	昭和60年生れ	34歳	昭和59年生れ
	36歳	昭和57年生れ	37歳	昭和56年生れ	38歳	昭和55年生れ
	60歳	昭和33年生れ	61歳	昭和32年生れ	62歳	昭和31年生れ

※この年齢は歳次年です。



## どんど焼き (焼納祭)

日時 1月15日(日)・午前10時～午後2時で終了

場所 神社境内

〔お持込みは午後2時までにお願ひします〕

### —どんど焼きについて—

どんど焼きとは、1年間にわたってご守護を戴いた御神札やお守り  
おふだ  
などを御神火によって焼納する神事のことです。

しかしながら、昨今、神事とは関係のない物が持ち込まれるようになっております。

右の「お納めできる物」だけをお持ちくださるようお願いいたします。

### —お納めできる物—

御神札・お守り・御神矢・しめ飾り・しめ縄・おみくじ・神棚・松飾りなど

※ただし、ダイオキシンの発生する塩化ビニル類（吸盤等）やプラスチックなどは取り除いてお持ちください。

### —お断りしている物—

仏具・写真類・食品・陶磁器・不燃物・プラスチック類・図書・だるま・お人形・衣類・その他日用雑貨品や神事に関係のない物はすべてお断りいたしております。

せつぶんやくはら

# ・節分厄祓い・

## 2月3日(金) 午前10時～午後2時まで

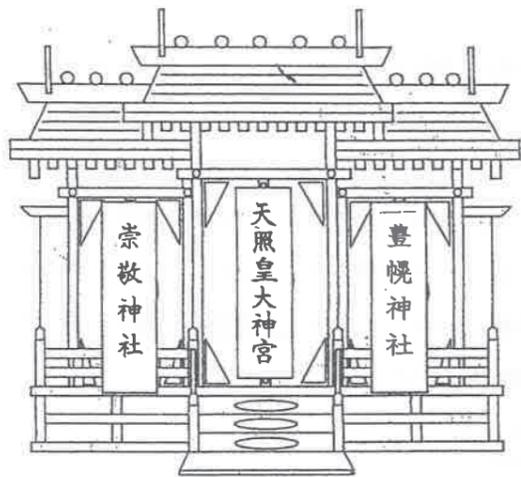
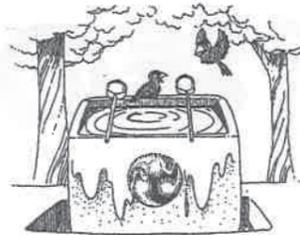
1年二十四節季のうち、立春に巡る節季が2月3日にあたり、昔は正月節とも書かれてきた。節分の行事には  
ついな ついな さいもん  
 追儼や豆まき(豆打ち)などがあり、追儼は祭文を奏して鬼に扮した人を  
ゆみや  
 桃の弓矢、棒などで追って悪疫邪気を退けようとするもので  
おにや  
 「鬼遣らい」などとも呼ばれます。



せつぶんさい 神社では節分祭と呼び、その日は邪気を祓い、福を呼び、  
むびようそくさい いの  
 無病息災を祈る節分行事が行われるようになりました。

### 《各種ご祈願ご祈祷お祓いについて》

- ・ 1月 ご希望の日を予めご予約にて申し受けます。
- ・ 2月 ご希望の日を予めご予約にて申し受けます。
- ・ 3月 ご希望の日を予めご予約にて申し受けます。



「家庭の神社」  
 神社で授けられるお神札は、神様の  
 ご神威がこめられた神聖なものです。  
 神棚を設け、日々の暮らしを守護して  
 いただける事は至極の幸せであります  
 よう。

神棚の設置は基本的には南向き、又  
 は東向きに、人の目線よりも高いとこ  
 ろに設置致します。上階に生活空間が  
 ある場合にはその天井に「雲」と書いた  
 紙を貼り付けます。

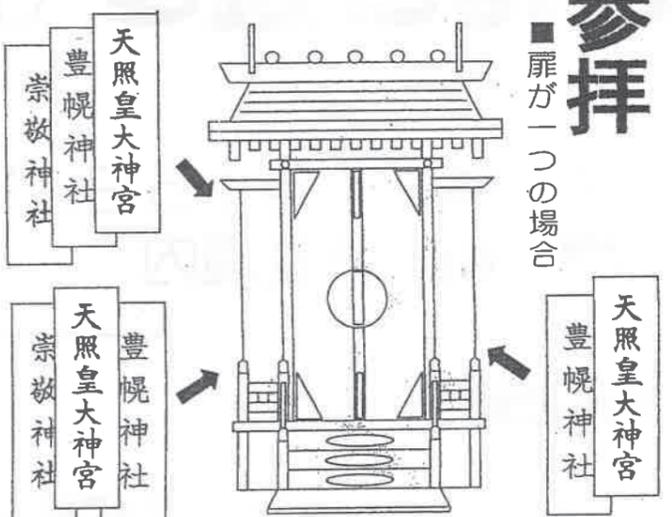
団地などで神棚を設けづらい場合に  
 は、家具などの上段に白紙を敷きその  
 上にお祀りするようにします。

神棚にお祀りするお神札は日本全  
 国を守護する「天照皇大神宮」此の土  
 地を守護している「豊幌神社」、そして  
 各々が敬っている「崇敬神社」のお神札  
 の三種類です。ちなみに崇敬神社のお  
 神札は複数でも構いません。

■扉が三つの場合

## 365日おうちで参拝

■扉が一つの場合



お神札は一年ごとに新しいものにお  
 取り替えます。古いお神札はどんど  
 焼きにてお焚き上げを致します。

私達が毎日食事をするように、神様  
 もお食事をします。その為、毎日、神棚  
 には毎日お供え物を捧げ、お参りする  
 ようにしましょう。お供え物は、米、塩、  
 水、お酒などを供え、節日には山海の幸  
 をお供え物として捧げます。

特に朔日と十五日には神様が皆々の  
 声を聴く日として待っております。この  
 日にはお取り替えるのが一番好まし  
 いとされております。米、水、塩、のお供  
 え物は毎朝捧げ、神社の参拝作法と同  
 じように、「一礼一拍手一礼」の作法でお  
 参りします。

お取り替えした古いお供え物は、家  
 族でいただきます。こうして神様と同  
 じ食事をすることで日々の暮らしをお  
 守りいただけるのであります。

参考文献「神社と神様」

# 豊幌神社

お問い合わせ  
 お申し込み  
 ご連絡

電話 385-2837  
 FAX 385-3043

社報七〇号